

診 断 し が

1998年秋号

No. 3



新事務所全景

目 次

支部長就任のご挨拶	山本 善通	1
平成10年度滋賀県支部組織図		2
私の独立開業	松田 智之	3
金融ビックパンについて	田中 清行	4
故吉村会員を偲ぶ	八田 昇	5
シガネット・新メンバー募集	田中 義郎	5
会員紹介		6
お知らせ		7



支部長就任のご挨拶

社団法人 中小企業診断協会滋賀県支部

支部長 山本善通

この度、支部定時総会におきまして、支部長の職務をお引き受けさせていただきます。もとより、その力量もなく、器でもない事は承知のうえであります。支部発足以来支部長として、多大の功績をあげられた夏原先生はじめ会員の皆様に、御迷惑をかけるのではないかと、今も心配している次第であります。

夏原先生より庶務事項等の引き継ぎを受け、6月頃より実際に事務局の業務をすすめていただいておりますが、何分にも不慣れですので、お気付きの点や御要望等がございましたら、ぜひとも御連絡いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

幸いにも、理事、監事とも当支部の事業の執行について、御尽力いただく方は、すばらしい会員先生方ばかりであります。

このような役員の皆様にサポートされ、支部運営をスタートできた事は、本当に有難いと感謝しております。

本事業年度の重点強化項目は、「研修体制の充実強化」「受託業務の拡充」「会報誌の発刊」「入会勧誘活動の強化」等ありますが、会員の皆様が、支部会員に加入していただくメリットを十分に実感できるという事を目標にすすめたいと思います。

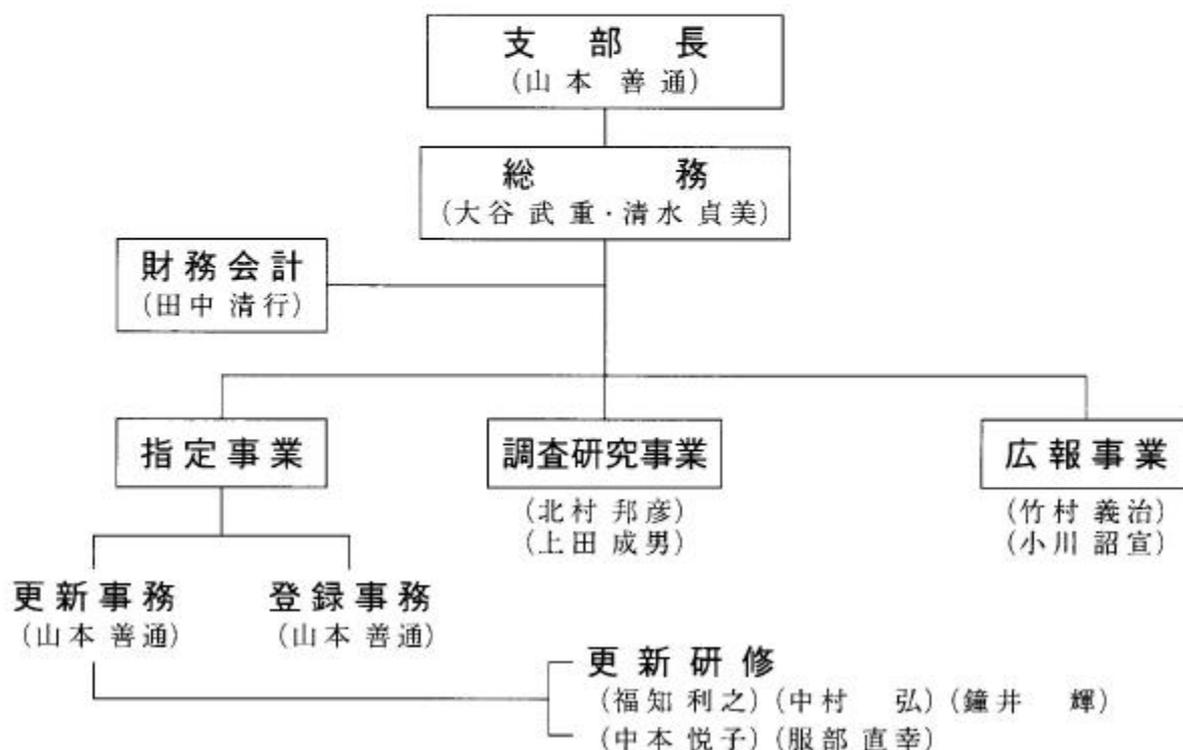
特に、受託業務については、積極的な受注活動を展開し、その実績を拡充してゆく事が中小企業診断士の地位向上にもつながってゆくものと確信しています。

また、企業内診断士として御活躍中の会員の皆様にとっても、当支部がその活動の拠り所となるよう、努力してゆきたいと考えております。

文字通り浅学非才の支部長ですが、支部の円滑な運営のために誠意をもって取り組む所存であります。

会員の皆様のあたたかい御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

社団法人 中小企業診断協会 滋賀県支部組織図 (担当者)



社団法人 中小企業診断協会 滋賀県支部役員名簿

	名 前	〒	住 所	T E L
支 部 長	山 本 善 通	520-3322	滋賀県	
副支部長	大 谷 武 重	525-0053	滋賀県	
副支部長	清 水 貞 美	520-0021	滋賀県	
理 事	上 田 成 男	521-1235	滋賀県	
理 事	小 川 詔 宣	523-0055	滋賀県	
理 事	鐘 井 輝	520-0836	滋賀県	
理 事	北 村 邦 彦	522-0086	滋賀県	
理 事	竹 村 義 治	520-2313	滋賀県	
理 事	田 中 清 行	520-1112	滋賀県	
理 事	中 村 弘	520-0805	滋賀県	
理 事	中 本 悦 子	520-0515	滋賀県	
理 事	服 部 直 幸	520-0803	滋賀県	
理 事	福 知 利 之	520-0106	滋賀県	
監 事	力 石 伸 夫	520-0804	滋賀県	
監 事	八 田 昇	520-0006	滋賀県	
顧 問	夏 原 達 雄	520-0006	滋賀県	



私の独立開業

松田 智之

まつたとしゆき／昭和16年3月18日京都市
京都市立日吉ヶ丘高校卒業
診断士登録：昭和63年度・商業部門

独立開業のきっかけ

私は昭和34年に京都の老舗大手メーカーの系列企業に入社、以来営業企画に携わり、広告宣伝や各営業部門への売上配分、製造部門との工程調整等を担当してきましたが、もとより経営全般に対する知識は皆無といってよい状態でした。そこで経営に対する見方・考え方と同時に近代経営手法を学ぶことがどうしても必要と感じ、効率的な方法として中小企業診断士試験のテキストを中心に勉強を始めました。正直言ってこの時点では資格取得や第2次試験のことなどは頭にありませんでした。たしかにこの勉強は仕事の面でも自己啓発においても大きな効果を上げました。

その後、ずいぶん経ってから、せっかく勉強したのだからと試験に挑戦して資格を取得しました。そのときは、未熟ながらもこの資格が、それまで労働運動を通じて一般の中小企業の苦しみや嘆きを見てきた私にとって、中小企業への手助けができる手段だと信じておりました。しかし、これを受け入れるはずの社会システムは、未整備というよりほとんど機能しているとは思われませんでした。

私はこの閉塞状態を残念に思い、実力をつけ自分の方向を一步進めるため、勤務していた企業を円満退職し、大阪の経営コンサルタント企業に転職しました。ここでかれこれ10年勤め、バブル経済が崩壊する中で所属企業のクライアントを一部もらって独立開業しました。

独立開業後の取り組み

素人が骨董品を買うときは、骨董屋の人柄を買え、とよく言います。企業トップがコンサルティングを依頼する場合は、物品を買うわけではありません。コンサルタントが提供するサービスが他で評判が良くても自社に合うかどうかわかりません。であるなら、「大局着眼小局着手」の心構えで、ニーズを整理し、独創性を軸に、クライアントにフィットした企画書を書き、納得がいくまでクライアントの土俵で相撲をとることが大事だと痛感しています。口べたで講演活動に向いていない分、これへの努力が私自身必要だと認識しています。

また、人的ネットワークも大切だと思います。いまま勤務していたコンサルタント企業から、「この部分で手伝ってもらえないか」というような依頼があることがあります。この面からも得意分野をもち、絶えず新しい知識を注入しておくことが大事だと思っています。

現状は、中小企業診断士の資格は、「無いよりはあった方がマシ」状態ですが、中小企業診断協会滋賀県支部では、診断士の真の復権のための取り組みがなされようとしています。診断士が信頼をもって受け入れられる新しい社会システムを創造するため、私も微力ながら貢献したいと願っております。

金融ビッグバンについて



田中 清行

金融ビッグバンとは何か

150億年前に宇宙を生んだ大爆発を語源とし、1986年に英国がロンドン証券取引所で外国証券売買手数料自由化等の金融大改革を行ったことを「ビッグバン」と呼ぶようになったのです。英国病脱却を目指したサッチャー政権指導の下に行われました。1950年代、60年代の戦争を機に世界中にばらまかれたドルは、ユーロドルとなって世界中を駆け巡るようになり、各国の金融政策に大きな影響を与えるようになりました。そして金融の世界では、デリバティブと呼ばれる、オプションスワップ、先物を使用する商品が開発され、国境を越えたさまざまな金融取引につながり、金融の大変革となったのです。

アメリカは、ビッグバンといわれるほどの一度の爆発的な改革は経験していませんが、1975年の株式売買手数料の完全自由化以来、長い時間をかけてディスクロージャーや外部監査制度等により金融機関の透明性や健全性をチェックして投資家を保護する環境を整える、金融制度改革における世界のモデルになっています。

日本版ビッグバン

日本でいま、ビッグバンが必要になったのは1989年から始まった日米構造協議で「日本型システム」が叩かれたことに端を発しました。弱い金融機関を保護する護送船団方式が国際競争を阻害する原因と指摘されたのです。そしてバブル崩壊後に不良債権の多い金融機関が船団から脱落、自沈していき、大蔵省も支えきれないと判断しました。その結果、橋本首相主導で金融システム改革を2001年までにやることになったのです。

現在、日本の個人金融資産の残高は1,200兆円もあり、60%が預貯金で占められ、この偏在が日本の金融資本市場の閉鎖性、特異性を示すものと見られて攻撃されています。

ビッグバンが進みますと、資金が自由に外国との間を行き来するという面、業務の規制が撤廃されるという面という2つの変化が起こります。今

秋から銀行で投信や保険の窓口販売が始まります。証券も決済機能のある証券総合口座を売り出します。ビッグバン先進国の米国では個人金融資産に占める預貯金の割合はわずか20%で、保険・年金が28%、有価証券が35%にもなっています。また企業金融は直接金融が中心です。資金調達や運用の道も自ら選択し、株価・株主を重視した収益至上主義の効率経営を要求されます。膨大な数の金融機関・支店の整理淘汰も必然になります。日本でもだんだんとその方向へ進むでしょう。

日本版ビッグバンの課題

日本版ビッグバンの課題の1つ目は、220兆円という膨大な資金を預かる郵便貯金がビッグバンの枠組みに組み入れられていないこと、そして国民の審査を受けてない財政投融資が肥大化していることです。これでは実質的な大改革は難しいのです。

2つ目は、いま日本でやろうとしているのは金融ビッグバンだけでなく、膨大な不良債権処理という難事業を含んでいる点です。これは英米のビッグバンにはみられなかった点であり、日本版ビッグバンの成否の鍵を握るものです。

3つ目は、アングロサクソンのルールが浸透することです。日本版ビッグバンの基本原則は、①Free（市場原理、自由性）、②Fair（透明性、公平性）、③Global（国際性）ですが、これらはすべて英米流の経済合理性の考え方なのです。早くから日本に進出したシティバンクは富裕層に的を絞った戦略で着々と成果を上げています。しかし、平等に尊ぶ日本文化の中でわが国の金融機関は早急に追従できないジレンマがあります。

英米流は株主や顧客の利益を重視することから、金融界だけでなくあらゆる産業界において世界標準になりつつあり、こうした変化は社会も変えます。市場関係者には遵法精神が求められ、合併・買収に対するアレルギーもなくなり、ベンチャー企業のための環境も整ってくるでしょう。あらゆる分野で勝ち残りの戦いが激しくなりそうです。



故吉村会員を偲ぶ

八田 昇

3月30日朝、「私吉村の息子ですが」突然の電話に何か胸さわぎを感じた、それは吉村さんには不整脈と云う持病があったから、残念ながら御息との最初の話しが訃報、人一倍健康管理に厳しい吉村さんが、しかもその死因が胃がんとのこと、大変なショックを受けました。

昨年11月6日の更新研修後に話したのが最後となった。その時の話題が吉村さんの大腸にポリープが吹き夏に入院して除去したとの健康上の話、私と違ってお酒など余り飲まれず、2人で居酒屋やバーなど行った記憶は40年余の交友を通じて殆ど皆無、謹厳実直で自己を愛し家庭最優先の吉村さんとの儂い別れ。

岡山県生まれの吉村さんがなぜ滋賀県に奉職されたのか、さだかでないが、旧制福井工専を卒業後郷里への帰路、美しい琵琶湖に魅せられて途中下車されたのではないかと私は思っている。吉村さんを偲ぶことは滋賀県の診断の歴史の回顧でも

ある。昭和28年秋、経営合理化、生産性向上のセクションが商工部商工課に新設され、K係長、吉村技師、八田主事、女子1名のスタッフで発足、これが吉村さんとの出逢い、当時はマニュアルなども整備されておらず、先進府県からの支援により工場の能率向上、商店の店舗改装、そして吉村さん得意の亜炭、長石、石灰石などの鉱山診断等々、実施、また本県に比較的多い産地に出向いて泊まり込みにての産地診断。最初は組織づくりや産地企業の財務的標準値の作成、次いで共同施設の充実、製品転換と思い出も多い。

また、最近では平成8年5月には支部設立10周年式典で協会長表彰、受彰者を代表しての謝辞を述べられた姿が鮮明に残っている。診断士登録番号252診断の生字引吉村さんの在りし日を偲び、更めて御冥福をお祈りしたい。



昭和41年9月、日野町商店街診断
左2人目 故吉村会員、4人目 八田会員
中央 岡山商科大学 西岡教授

☆☆☆ シガネット・新メンバー募集 ☆☆☆

田中義郎

シガネットが発足して1年が経過しました。シガネットとは勉強会です。どんな勉強をするのか。会則に会の性格と目的を明らかにしています。

第1条 会の性格

1. 明日の経営、日本、世界、人類について本音で語る場
2. 袴をぬいだプライベートな集まり
3. 相互研鑽の場

第2条 会の目的

1. 自己研鑽の場

2. 人的ネットワークの場

勉強会は原則として偶数月の第4土曜日の午後に開催しています。会費は年間1万円。登録メンバーは現在28名です。

シガネットに入会してどんなメリットがあるのか。それは、1人ひとりのところがけ次第だと思います。ただ「長期的な成果」を第一義に運営を行っているつもりです。発足1年を記念して、新メンバーを募集しています。皆様方の多数のご参加を期待しています。

会 員 紹 介

紹介内容 ①名前 ②生年月日 ③勤務先 ④登録部門 ⑤初年度登録 ⑥自己PR ⑦他公的資格名

 <p>① 鍾井 輝 ② S28.10.7 生 ③ 鍾井輝経営事務所 ④ 商 業 ⑤ H8年</p> <p>⑥ 約20年間の小売実務経験をもちにマーケティングから経営計画の立案までお役に立ちたいと考えます。消費者ニーズに対応した新業態への転換やフランチャイズチェーン化も視野に入れた活性化の相談にお役に立てばと思います。</p> <p>⑦ 販売士一級</p>	 <p>① 金子 聡 ② S39.11.26 生 ③ ㈱滋賀銀行 ④ 工鉱業 ⑤ H8年</p> <p>⑥ 最近の登録で経験も浅く、企業内診断士でもあり実務経験は殆どありませんが関連の勉強を続けさせていただきたいと思ひます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。</p>	 <p>① 川 副 郷一郎 ② S30.2.1 生 ③ ㈱滋賀銀行 ④ 商 業 ⑤ H4年</p>
<p>① 川 村 忠 ② ——— ③ 川村忠法律事務所 ④ 商 業 ⑤ ———</p>	 <p>① 岸 田 寛 司 ② S41.1.4 生 ③ ㈱滋賀銀行 ④ 商 業 ⑤ H6年</p>	 <p>① 北 川 昇 ② S9.1.22 生 ③ 北川経営診断事務所 ④ 工鉱業 ⑤ S50年</p> <p>⑥ 専門医ではありません。あなたのホームドクターです。</p> <p>⑦ 税理士 社会保険労務士 宅地建物取引主任者 特種情報処理技術者</p>
 <p>① 北 出 龍 三 ② S6.12.29 生 ③ 北出中小企業 振興指導事務所 ④ 工鉱業 ⑤ S44年</p> <p>⑥ 中小零細企業の経営者は孤独であり真に信頼し得る相談相手を求めているが、信頼は長年に亘る人間関係によってもたらされる。必然的に関与する企業数は限られるが、常に私は企業の社会的道義的責任の重大さを執拗なまでに勧告したり注意しつつ、経営の指導に当たっている。幸い、この不況下においても、どの顧問先も高収益をあげている。誇りに思うと同時に感謝している。</p> <p>⑦ 行政書士</p>	 <p>① 北 村 和 一 ② S20.3.23 生 ③ ㈱ジェムコ日本経営 ④ 工鉱業 ⑤ S61年</p> <p>⑥ 史上最年少(27歳)で技術士取得致しました。得意分野：物の買いかた、物の造りかた、物の運びかた、即ち、購買、生産、物流の分野。特異分野：中国語可。以上の分野で寄与致したく存じます。よろしく。</p> <p>⑦ 技術士(経営工学部門)</p>	 <p>① 北 村 邦 彦 ② S19.3.27 生 ③ ㈱滋賀銀行 ④ 商 業 ⑤ S57年</p>



REGISTERED
MANAGEMENT
CONSULTANT

本会は、中小企業診断士相互の連携を
緊密にし、資質の向上に努めるとともに、
中小企業の振興と国民経済の健全な発
展に寄与することを目的としています。

お知らせ

事業計画

(Ⅰ) 近畿ブロック診断交流研究会

(日 時) 平成10年10月21日(木)
AM11:00~PM5:00

(Ⅱ) 中小企業診断士 登録更新研修

(日 時) 平成10年11月20日(金)・21日(土)
(場 所) 大津市浜大津4丁目1-1
明日都浜大津4階
大津市ふれあいプラザホール

(場 所) 京都市上京区烏丸通り上長者町上ル
平安会館

(テーマ) ・「本部・支部事業の情報交換会」
・「支部会員による研究発表会」

(主 催) (社) 中小企業診断協会 京都支部

(Ⅲ) 滋賀県支部研修

(日 時) 平成10年11月28日(土)

(場 所) 大津市梅林1-5-18
滋賀ビル9F(会議室)

(テーマ) 「革新的小売業 経営理念と時流適合」

(講 師) 中小企業診断士 鐘井輝 会員
(研究例会シガネットとの共催)

● 編集後記

平成10年5月16日の総会において、新支部長及び新役員が決定いたしました。夏原前支部長は滋賀県支部創立以来、長年に亘って支部長をつとめていただき厚く御礼申し上げます。新支部長のもと会員一同協力して、滋賀県支部の発展をめざしていきたいものです。

前号より会員紹介のコーナーをもうけさせていただいておりますが、自己紹介欄は、未記入があってもけっこうですので、自己紹介用紙のご返却をよろしくお願いいたします。

今回、自己紹介用紙をご返却いただいていない会員については、中小企業診断協会へ入会申込時の資料を使用させていただきましたので、ご了解をお願い申し上げます。

診断しが No.3

〈1998年秋号〉

1998年10月1日発行

〈発行所〉

社団法人 中小企業診断協会
滋賀県支部

〒520-3232 滋賀県甲賀郡甲西町大字平松104番地の20
エクセル甲西4階(JR甲西駅前)
TEL (0748)72-3988 FAX (0748)72-7274